



濡れた路面の吸水が素早くできる

ウォーターズ

降雨・降雪後の濡れている路面の吸水をおこない、その後の施工を早く行うことが可能です。

- 18リットルの水を吸水
- 排水が簡単
- コンパクトに収納
- スポンジの交換作業が簡単

ホームページにウォーターズを使用している映像があります。ぜひご覧ください。

ウォーターズ

⚠️ 夏期における屋外路面シート製品の施工直前の注意事項



直射日光厳禁

屋外路面シート製品を直射日光に長時間あてた状態にするとシートが伸びたり、また柔らかくなり施工時に設置しづらい原因となります。

特にクイックシートの黒色は熱の吸収率が高く、段ボールとシート、またはシート同士が貼付く恐れがありますので施工直前まで直射日光を避け涼しい所に立て掛け厳禁で保管ください。

当社商品に関するご注文・お問い合わせはこちらまで

Tel 076-289-6639 (直通) Fax 076-289-6637

#SANKO NEWS 7

2018年7月号 Vol.106

SANKO

サンコー企画株式会社

石川県河北郡津幡町宇旭山1番地2 〒929-0447
Tel: 076-289-6708 (代表) Fax: 076-289-7992

月刊 サンコーニュース

MONTHLY SANKO NEWS

July 2018 Vol.106

7



もっと増える? 優先駐車場



もっと増える？

優先駐車場



近年は、車いすマークだけでなく、高齢者、妊婦、心臓疾患等のマークを表示した「優先駐車場」が増加しています。今回は、優先駐車場について特集しました。

障害者駐車場の多様化

バリアフリー化が進み、公共施設や大規模な駐車場では必ず障害者駐車場が設けられ、車いすマークが表示されています。車いす使用者は幅3.5m以上と幅広いスペースがないと車から乗降することができません。しかし、車いす使用者だけでは稼働率が低く、「空いているなら、ちょっとだけ」という感覚での健常者の不適正利用が増加し、車いす使用者が利用できないという問題に悩まされてきました。

一方で、幅広いスペースは必要ないものの長距離歩くことが困難な心臓病などの内部障害者や妊婦、高齢者等も、施設入り口に近い障害者駐車場を必要としています。そのため、最近では車いす駐車場に加え、歩行困難者に対応した駐車場を設けたり、車いすマーク以外の対象者のピクトマークを合わせて表示する優先駐車場が増加しています。だれが障害者駐車場を利用できるかを明確にし、必要な対象者が利用しやすく、無駄なく有効に駐車場を活用できます。



クイックシート

優先駐車場 W1200×H1200mm 岡山県 D-B-72S1C3

ユニバーサルデザイン 2020 行動計画

東京オリンピック・パラリンピックでは健常者だけでなく、海外から障害者の方の来日も多く見込まれます。そのため、共存社会の実現に向けたユニバーサルデザイン化、バリアフリー化を推進し、大会以降のレガシーとして残していくために様々な施策が計画されています。

そのひとつとして、「パーキングパーミット導入促進」があります。パーキングパーミットとは、健常者の不適正利用に対応するため、利用証を発行し、障害者駐車場を利用できる者を明確し、本当に必要な者のために、駐車場を確保する制度です。2008年に佐賀県で最初に導入され、現在は36府県3市と全国各地で導入されています。しかし、まだ利用対象者に見合う駐車場が不足しているため、2020年に向けて導入を促進しています。「パーキングパーミットを法制度化すべき」との声もあり、国土交通省を中心に検討会も実施され、今後も増加すると考えられます。



クイックシート

パーキングパーミット W1200×H750mm 佐賀県 D-B-61D1

心のバリアフリー

駐車場のバリアフリー化が進み、障害者駐車が利用しやすくなってきてはいるものの、不適正使用はまだまだありません。ユニバーサルデザイン2020行動計画では「心のバリアフリー」も計画されています。具体的な取り組みとしては共存社会に向けた学校教育や交通や観光分野におけるサービス業の接客向上、職員研修などの実施が予定されています。

「ちょっとだけ」の間に本当に必要な人が困っているかもしれません。設備の充実はもちろん大切ですが、心のモラルの向上も共存社会の実現には必要不可欠ではないでしょうか。



クイックシート

ゆずりあい駐車場 W1000×H1000mm 大阪府 D-B-200S3

出展レポート



BICYCLE CITY EXPO 2018

自転車まちづくり博

in 東京ドームシティ・プリズムホール

「BICYCLE CITY EXPO 2018 ～自転車まちづくり博～」は「自転車を利活用したまちづくり」をテーマに日本初の自転車まちづくり展として高評価を得た「BICYCLE CITY EXPO 2017」に引き続いて5月29日(火)・30日(水)の2日間にわたり東京ドームシティ・プリズムホールにて開催された展示会です。全国の自治体、デベロッパー、建設コンサルタント、道路・建築関連、駐輪システム、シェアサイクルなどの自転車に関わる企業を中心に89社が出展していました。当社は「路面を活用する安全で快適な『自転車利用環境』整備」をテーマに屋外路面シート

製品を展示しました。会期中ブースには自転車通行帯の路面標示に関して具体的に解決したい課題をもって来場した方や交通社会実験に適した路面標示製品を探しに来ている方などで賑わいました。その為、当社説明員と詳細なお話しをする事が比較的多いように感じました。また来場者や、出展社の方から最新の自転車業界関係の情報交換をすることができ、たいへん有意義な展示会と言えました。当日お忙しい中、当社ブースにお立ち寄りいただき、本当にありがとうございました。

